

世界遺産「白神山地」保全と活用推進プロジェクト



現状と課題

◆ 白神山地は、原生的なブナ天然林が世界最大級の規模で分布する山岳地帯で、平成5年12月に世界自然遺産に登録されている。(世界遺産登録地帯の約4分の3が青森県側)

◆ 白神山地の観光入込客数は、東日本大震災の影響により大きく減少。(震災前約43万人→約34万人)

◆ 白神山地の盟主・白神岳の一般登山ルート2本のうち1本が崩落により平成26年から立入禁止

世界遺産を良好な状態で

次世代に引き継ぐためには、

しっかりした保全と適切な活用

による地域の活性化が不可欠

事業内容



1 白神山地「選ばれる世界遺産」プロジェクト事業

- ・体験プログラムの開発促進、博覧会開催支援によるPR強化
- ・しらかみ未来塾の開講(子どもたちに白神山地の自然・暮らし、楽しみ方を伝授)
- ・著名な自然愛好家による白神山地巡り及び意見交換会の開催(→情報発信)
- ・若い世代を対象とした地域フォーラムの開催
- ・ガイドブックの作成、雑誌広告掲載

2 白神岳魅力向上発信事業

- ・白神岳登山道(二股コース)の整備による魅力向上及びマテ山コースのオーバーユース解消
- ・白神岳登山と周辺地域の食や文化を組み合わせた登山愛好家向けプログラムの開発と情報発信

3 自然観察歩道整備事業

- ・十二湖コースの迂回ルートを整備

事業効果

＜白神エコツーリズムの推進＞
自然×地域住民×交流人口×産業



白神山地の価値の継承
地域の自律的発展・活性化

